
ff13 ～獣使い～

貧弱戦士

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ff13 〜獣使い〜

【Nコード】

N5077Y

【作者名】

貧弱戦士

【あらすじ】

世界の常識をそんなに知らない男『レックス』。ライトと幼馴染で、何かが抜けている21歳。そんな彼はライトの妹、セラを助けるためにコクーンへと乗り込んだ!? 一体、彼はどう助けるのか

……

ブローグ

「……なあ、アンタ？」

「あ？ 何だ」

俺様は席に座って、銃を構えている人に声を掛ける

「あのさあ、俺達はいわゆるアレだろ？ 生贄みたいな？ 何でそんな事せにゃあかんねん」

「生贄ではない。これは……待て、何でお前がこんな質問するんだ？ お前は……」

そつだよなあ、今はパージするためにこの列車に乗ってんだから

こんな質問したら可笑しがられるだろう

けど、俺様の頭は可笑しくない！ ok？

「ん、俺様さあ。あるか弱い女の子を守るためにこの醜い列車に乗ったんだが……俺様は学校とかの勉強を受けていないから、じゃえんじえんわかんないんだよ」

「お、お前ま「はい遅い！」ぐ、ぐはっ！」

俺は兵隊さんに一発拳を入れた

バーカ、潜入しているくらい気づけよアホ

さてと……

俺はパージするために着たフードを脱ぎ、ゆっくりと前へ歩く

さいわい此処の見張りは一人だから、目立たなくてすんだな

俺は左腕に付いているコンピュターを操り、画面を出す

『　　は、今日一番の幸運者です。では次はお天気』

「よし、今日はラッキーらしいぞ俺様！」

うん、今日もカナちゃんは可愛い！！　愛しちゃう！

画面を消し、時間を見た

ライトが動くにはまだ時間が掛かるな……あいつは俺様が来るのは知らないよな？

仕方ねえ、そんじゃまあ此処から出るか

「うらあ！！　壊れろや！！」

扉の前に立ち、思い切り蹴った

「……痛ッテ~~~~！！！！！！！！　あ、脚がつった！？　何かつった！？　糞痛ッテ~~~~！！」

もちろん昔ではないから、扉は簡単に開かず俺の脚が重傷となった

脚を抑えて半泣き状態で、市民から冷たい視線を送らせている
すると…

『プシュ〜』

扉は開いた

「……ふはははは！… 今のはわざとですよ皆さん！！ では、俺様はこれで！！」

扉に向かって走って、華麗に着地した

ふ、決まった……

「ぎゃあああああ！！！！ 張り切り過ぎて、脚がさらに悪化したああああ！！！！！！」

こ、この糞〜

俺様の脚がこんなに脆いとは、今度鍛えなくては

そのまま脚を抑えて立ち上がり、全体の光景を見た

「……此処がコクーンか。そしてあのラピュ みたいなのが……セラが居るのか」

聳え立つ塔みたいなのが……

何で知らないかって？　だから、俺は学校とかそんなところに行っていないから、マジでわかんないってば！！

このレックス様をなめんなよ！？

「よっしゃー！！！！！！　行くぜ！」

俺は塔みたいな所に向かって走り出した

「ぎゃあああああ！！！　そうだった！！　まだ脚が痛いんだ
った――！！！！！！」

カナちゃん！！！！　今日は怪我しまくりです！

プロローグ（後書き）

感想をください！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5077y/>

ff13 ～獣使い～

2011年11月17日20時25分発行